

## 第98回定時社員総会 議事録

一般社団法人 海 洋 会

1. 日 時 平成30年6月15日（金）16時00分～17時50分
2. 場 所 東京都千代田区麹町四丁目五番地 海事センタービル4階会議室

### 3. 議 案

第一号議案 平成29年度事業報告並びに決算報告について

第二号議案 平成30年度事業計画案並びに収支予算案について

### 4. 報告事項

- (1) 平成30年度特別会員の推薦について

### 5. 出席者（五十音順）

#### (1) 社員（37名）

石津 則昭	石田 隆丸	井手 祐之	磯崎 道利	今村 洋一
岩本 勝美	江川 央生	大橋 宏明	岡本建之介	奥野 健司
甲斐 定彦	葛西 弘樹	鐘ヶ江淳一	河原 健	神田 一郎
木之田久美	岸本 宗久	久門 明人	桑田 守	久古 弘幸
鈴木 三郎	陶山 和民	高瀬 敏一	武田 和彦	田島波留生
長南 賢司	百目鬼 健	狭間 満雄	平山 誠一	平塚 惣一
藤井 照久	増田 恵	松崎 光男	宮寺 重男	村山 義夫
矢野 経征	山本 勝			

#### (2) 監事

甲斐 定彦

桑田 守

### 6. 議長選出・定足数の確認

#### (1) 会長挨拶

本日の議題に付きましては、予め会誌「海洋」5月号に掲載されていますが、皆様のお手元に第98回定時社員総会議案書を用意しております。これから議事が円滑に進みますよう、社員の皆様の御協力を戴きますよう宜しくお願い致します。

#### (2) 議長選出

議長選出については、定款第21条の規程により出席社員の中から選出することが決められていることにより、会長一任を取り付けて、出席社員の中から神田一郎氏を指名し承認された。

(3) 定足数及び議事録署名人

事務局から、本日の定時社員総会は社員総数 83 名のところ本人出席 37 名、委任状提出 37 名、合計 74 名で、定款第 20 条の規程により本社員総会は成立していること並びに甲斐定彦監事と桑田守監事が出席していることが報告された。

続いて、議長は定款第 25 条の規程により本社員総会の議事録署名人について、社員の中から高瀬敏一氏と百目鬼健氏を指名し了承された。

7. 議案審議

第一号議案 平成 29 年度事業報告並びに決算報告について

事務局から配布資料に基づき、次の事項について説明があった。

① 平成 29 年度事業報告書

② 平成 29 年度財務諸表

尚、②に関して、今後一部の科目について止むを得ない事情により振替等の処理が必要になった場合は、その処理については会長に一任することが了承された。

引き続き桑田守監事より、「平成 29 年度における貸借対照表、収支計算書、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、及び財産目録、並びに海洋会の業務執行状況について、5 月 10 日海洋会本部において甲斐定彦監事と私桑田守が監査したところ何れも適正であることを確認したので、その旨御報告致します」との報告があった。

(質疑応答)

質問：財務諸表に対する注記の項番 12. (1) 横浜会館敷地に係わる原状回復義務について記述されているが、本件に関する具体的な計画があるのか。

回答：計画はありません。但し、横浜会館は、「歴史的建造物」であることから、横浜市と事前協議が必要であり、海洋会独自に退去できない。このことを踏まえ、当該債務を計上しないことを公認会計士が認めている。

議長は、本議案について賛否を諮ったところ、全員異議なく承認された。

第二号議案 平成 30 年度事業計画案並びに収支予算案について

事務局から配布資料に基づき、次の事項について説明があった。

① 平成 30 年度事業計画 (案)

② 平成 30 年度収支予算書 (資金収支) (案)

③ 平成 30 年度正味財産増減予算書内訳表 (案)

尚、②及び③に関して、今後一部の科目について止むを得ない事情により振替等の処理が必要になった場合は、その処理については会長に一任することが了承された。

(質疑応答)

質問：平成 30 年度事業計画 (案) の「東京海洋大学校友会」に関連し、海洋会は「団

体校友とはならず、団体校友の枠外」に位置づける旨の説明があったが、全体像が見えないので補足願う。

回答：このことは、会誌「海洋5月号（38頁）」に述べられている。校友会の設立は、あくまで大学のガバナンス強化の一環として行うもので、既存の同窓会が果たす機能と何ら重なるところはない。大学がイメージする“団体校友”は、現時点ではその性格が必ずしも明確でないこと、複数の母校の横断的同窓会機能を持つ「海洋会」として、まるまる大学の組織に組み込まれる印象を与えることはまずいと判断から、当会は団体校友には当面属さないということをお願い、大学も了承した。一方、校友会組織へは、大学からの要請もあり、当会専務理事が校友会理事の一人として参画し、校友会の運営に携わることにより、是々非々の協力関係を図ることとした。今後とも校友会の運営については関心をもって注視していく所存であり、必要の都度皆様に報告していく。

議長は、本議案について賛否を諮ったところ、全員異議なく承認された。

(報告事項)

事務局から配布資料に基づき、次の事項について報告があった。

① 平成30年度特別会員の推薦について

以上をもって、第98回定時社員総会の議案審議及び報告事項は全て終了し、閉会された。

上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し、社員総会議長及び議事録署名人がこれに記名押印する。

平成30年6月15日

一般社団法人 海 洋 会

社員総会議長 神田 一郎 印

議事録署名人 高瀬 敏一 印

議事録署名人 百目鬼 健 印